

**1**

解答解説のページへ

未知数  $x$  に関する方程式  $x^4 - x^3 + x^2 - (a+2)x - a - 3 = 0$  が、虚軸上の複素数を解にもつような実数  $a$  をすべて求めよ。

**2**

解答解説のページへ

$xy$  平面内の相異なる 4 点  $P_1, P_2, P_3, P_4$  とベクトル  $\vec{v}$  に対し,  $k \neq m$  のとき  $\overrightarrow{P_k P_m} \cdot \vec{v} \neq 0$  が成り立っているとす。このとき,  $k$  と異なるすべての  $m$  に対し,  $\overrightarrow{P_k P_m} \cdot \vec{v} < 0$  が成り立つような点  $P_k$  が存在することを示せ。

3

解答解説のページへ

任意の整数  $n$  に対し,  $n^9 - n^3$  は 9 で割り切れることを示せ。

**4**

解答解説のページへ

$n$  を 2 以上の整数とする。実数  $a_1, a_2, \dots, a_n$  に対し,  $S = a_1 + a_2 + \dots + a_n$  とおく。  $k = 1, 2, \dots, n$  について, 不等式  $-1 < S - a_k < 1$  が成り立っているとす。

$a_1 \leq a_2 \leq \dots \leq a_n$  のとき, すべての  $k$  について  $|a_k| < 2$  が成り立つことを示せ。

**5**

解答解説のページへ

$xy$  平面内の  $-1 \leq y \leq 1$  で定められる領域  $D$  と, 中心が  $P$  で原点  $O$  を通る円  $C$  を考える。  $C$  が  $D$  に含まれるという条件のもとで,  $P$  が動きうる範囲を図示し, その面積を求めよ。

1

問題のページへ

条件より,  $k$  を実数として,  $x = ki$  とおき,  $x^4 - x^3 + x^2 - (a+2)x - a - 3 = 0$  に代入すると,

$$k^4 + k^3i - k^2 - (a+2)ki - a - 3 = 0$$

$$(k^4 - k^2 - a - 3) + (k^3 - ak - 2k)i = 0$$

$k, a$  が実数より,

$$k^4 - k^2 - a - 3 = 0 \cdots \cdots \textcircled{1}, \quad k^3 - ak - 2k = 0 \cdots \cdots \textcircled{2}$$

②より  $k(k^2 - a - 2) = 0$  なので,  $k = 0$  または  $k^2 = a + 2$

(i)  $k = 0$  のとき ①より  $-a - 3 = 0$ ,  $a = -3$

(ii)  $k^2 = a + 2$  のとき ①より  $(a+2)^2 - (a+2) - a - 3 = 0$

$$a^2 + 2a - 1 = 0, \quad a = -1 \pm \sqrt{2}$$

$$k^2 = a + 2 \geq 0 \text{ より, } a = -1 + \sqrt{2}$$

(i)(ii)より,  $a = -3, -1 + \sqrt{2}$

### [解説]

計算ミスをしなければ, 正解に到達するという基本問題です。

2

問題のページへ

$P_1(x_1, y_1), P_2(x_2, y_2), P_3(x_3, y_3), P_4(x_4, y_4)$  とし,  $\vec{v} = (1, 0)$  とおいても一般性は失われない。

すると, 条件より, 任意の  $k, m$  に対して  $\overrightarrow{P_k P_m} \cdot \vec{v} = x_m - x_k \neq 0$  なので,  $x_1, x_2, x_3, x_4$  の間に大小関係が生じ, その中で最大なものを  $x_k$  とおくと,  $k$  と異なるすべての  $m$  に対して,  $x_m - x_k < 0$  となる。

すなわち,  $k$  と異なるすべての  $m$  に対して,  $\overrightarrow{P_k P_m} \cdot \vec{v} < 0$  が成り立つような点  $P_k$  が存在する。

### [解説]

成分を用いた解を考えました。書き方がやや雑な感じもしますが……。

**3**

問題のページへ

$N = n^9 - n^3 = n^3(n^3 - 1)(n^3 + 1)$  より,  $k$  を整数として,

(i)  $n = 3k$  のとき

$$N = 27k^3(27k^3 - 1)(27k^3 + 1) = 9 \cdot 3k^3(27k^3 - 1)(27k^3 + 1)$$

(ii)  $n = 3k + 1$  のとき

$$\begin{aligned} N &= (3k+1)^3 \{ (3k+1)^3 - 1 \} \{ (3k+1)^3 + 1 \} \\ &= (3k+1)^3 (27k^3 + 27k^2 + 9k) \{ (3k+1)^3 + 1 \} \\ &= 9(3k+1)^3 (3k^3 + 3k^2 + k) \{ (3k+1)^3 + 1 \} \end{aligned}$$

(iii)  $n = 3k - 1$  のとき

$$\begin{aligned} N &= (3k-1)^3 \{ (3k-1)^3 - 1 \} \{ (3k-1)^3 + 1 \} \\ &= (3k-1)^3 \{ (3k-1)^3 - 1 \} (27k^3 - 27k^2 + 9k) \\ &= 9(3k-1)^3 \{ (3k-1)^3 - 1 \} (3k^3 - 3k^2 + k) \end{aligned}$$

以上より, 任意の整数  $n$  に対し,  $N = n^9 - n^3$  は 9 で割り切れる。

### [解説]

整数を余りによって分類をするという手法で, うまく示せました。



4

問題のページへ

条件より,  $a_1 \leq a_2 \leq \dots \leq a_n \dots \textcircled{1}$ ,  $-1 < S - a_k < 1$  ( $k = 1, 2, \dots, n$ )  $\dots \textcircled{2}$

まず,  $a_n \geq 2$  と仮定する。

②において  $k = 1$  のとき,  $-1 < S - a_1 < 1$  なので,  $-1 < a_2 + a_3 + \dots + a_{n-1} + a_n < 1$

$$a_2 + a_3 + \dots + a_{n-1} < 1 - a_n \leq -1 \dots \textcircled{3}$$

①より  $a_2 \leq a_3 \leq \dots \leq a_{n-1}$  なので, ③から  $a_2 < 0$  となり, ①から  $a_1 \leq a_2 < 0$

すると, ③より  $a_1 + a_2 + a_3 + \dots + a_{n-1} < -1$  なので,

$$S - a_n < -1$$

これは②において  $k = n$  のときに反するので,  $a_n < 2$  となる。

次に  $a_1 \leq -2$  と仮定する。

②において  $k = n$  のとき,  $-1 < S - a_n < 1$  なので,  $-1 < a_1 + a_2 + a_3 + \dots + a_{n-1} < 1$

$$1 \leq -1 - a_1 < a_2 + a_3 + \dots + a_{n-1} \dots \textcircled{4}$$

①より  $a_2 \leq a_3 \leq \dots \leq a_{n-1}$  なので, ④から  $a_{n-1} > 0$  となり, ①から  $0 < a_{n-1} \leq a_n$

すると, ④より  $1 < a_2 + a_3 + \dots + a_{n-1} + a_n$  なので,

$$S - a_1 > 1$$

これは②において  $k = 1$  のときに反するので,  $a_1 > -2$  となる。

以上より, ①から, すべての  $k$  について  $|a_k| < 2$  が成り立つ。

### [解説]

京大らしい証明問題です。  $n = 2$  の場合は明らかですが,  $n = 3$  や  $n = 4$  の場合を考えていくと, 論証の道筋が見えてきます。

5

問題のページへ

$P(x, y)$  とおき,  $x$  軸に関する対称性から  $y \geq 0$  とすると, 条件より,

$$\sqrt{x^2 + y^2} \leq |y-1|, \quad x^2 + y^2 \leq (y-1)^2$$

$$\text{まとめて, } y \leq -\frac{1}{2}x^2 + \frac{1}{2}$$

よって,  $y \geq 0$  では  $0 \leq y \leq -\frac{1}{2}x^2 + \frac{1}{2}$  となる。

また,  $y \leq 0$  では対称性より,  $\frac{1}{2}x^2 - \frac{1}{2} \leq y \leq 0$  となる。

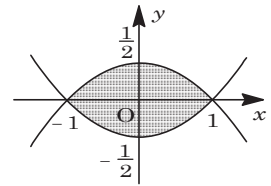
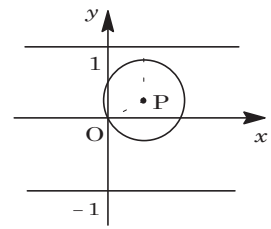
以上より,  $P$  が動きうる領域は,

$$\frac{1}{2}x^2 - \frac{1}{2} \leq y \leq -\frac{1}{2}x^2 + \frac{1}{2}$$

図示すると, 右図の網点部となる。ただし, 境界は領域に含む。

この領域の面積を  $S$  とおくと,

$$S = 2 \int_{-1}^1 \left(-\frac{1}{2}x^2 + \frac{1}{2}\right) dx = 2 \int_0^1 (-x^2 + 1) dx = \frac{4}{3}$$



### [解説]

条件を数式化していけば, 求める領域は自然に導き出されます。